経営学演習Ⅲ

必修　　4単位

前川　　正

1. 授業の概要（ねらい）

本演習は、経営学演習Ⅰ・Ⅱの履修生を対象とし主として「リスクマネジメント」あるいは「ERM・保険ERM」に関するテーマに関連した修士論文の指導を行います。前期は研究計画書の作成および修士論文の予備論文執筆に向けての準備を行います。後期は修士論文に必要な資料とデータの収集を行い修士論文を完成し口述試験に向けた準備を行います。

2. 授業の到達目標

①前期は研究計画書に基づく予備論文の作成とプレゼンテーション能力を強化・修得します。
②後期は修士論文の完成および口述試験に必要なスキルを向上・修得します。

3. 成績評価の方法および基準

①前期は研究計画書に基づく予備論文作成進捗（70%）及び予備論文を踏まえたプレゼンテーションを実施し（30%）総合的に評価します。
②後期は修士論文の完成（70%）及び口述試験に必要なスキルの修得度合いを（30%）総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

参考文献
一般社団法人日本内部監査協会[監訳]　『COSO全社的リスクマネジメント』　同文館出版
米山高生・酒井重人[編著]　『保険ERM戦略』　保険毎日新聞社
ERM経営研究会[著]　『保険ERM経営の理論と実践』　金融財政事情研究会
後藤茂之[著]　『保険ERM基礎講座』　保険毎日新聞社
後藤茂之[著]　『ERMは進化する』　中央経済社

5. 準備学修の内容

①　参考文献等を主体的に計画的に熟読し理解を一層深めてください。
②　疑問点はその都度確認して前に進んでください。
③　修士論文の着手を前倒しに取り組むことを心掛けて下さい。
④　修士論文の指導は基本的にマンツーマンで指導することにします。

6. その他履修上の注意事項

リスクと保険特講Ⅰ・Ⅱ及び経営学演習Ⅰ・Ⅱの履修が必要です。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション（演習運営の概要）
【第2回】　研究計画書の作成指導(1)
　　研究テーマの設定
【第3回】　研究計画書の作成指導(2)
　　理論研究と実証研究
【第4回】　研究計画書の作成指導(3)
　　研究領域の動向
【第5回】　研究計画書の作成指導(4)
　　先行研究の調査分析
【第6回】　研究計画書の作成指導(5)
　　コンプライアンス・ルール
【第7回】　研究計画書の作成と進捗状況の把握(1)
　　問題提起
【第8回】　研究計画書の作成と進捗状況の把握(2)
　　先行研究
【第9回】　研究計画書の作成と進捗状況の把握(3)
　　分析手法
【第10回】　研究計画書の作成と進捗状況の把握(4)
　　予想される分析結果と考察
【第11回】　研究計画のプレゼン(1)
【第12回】　研究計画のプレゼン(2)
【第13回】　研究計画のプレゼン(3)
【第14回】　研究計画書の完成と提出
【第15回】　修士論文の予備論文執筆に向けた準備
【第16回】　予備論文の執筆・進捗状況確認・プレゼン(1)
　　修士論文執筆の留意点(1)　合格論文と不合格論文
【第17回】　予備論文の執筆・進捗状況確認・プレゼン(2)
　　修士論文執筆の留意点(2)　タイトル、序論（問題の所在）、論文構成　章立て
【第18回】　予備論文の執筆・進捗状況確認・プレゼン(3)
　　修士論文執筆の留意点(3)　分析手法、注のつけ方、分析結果および考察
【第19回】　予備論文の執筆・進捗状況確認・プレゼン(4)　予備論文の完成
　　修士論文執筆の留意点(4)　結論（序論との整合性）と今後の研究課題、要約、参考文献
【第20回】　修士論文の作成(1)
　　論文構成の妥当性
【第21回】　修士論文の作成(2)
　　研究目的の妥当性、研究領域の意義
【第22回】　修士論文の作成(3)
　　研究内容の独自性

【第23回】　修士論文の作成(4)
研究結果に対する考察の妥当性および客観性

【第24回】　修士論文の作成(5)
研究の結論と残された課題

【第25回】　修士論文の修正・補筆(1)

【第26回】　修士論文の修正・補筆(2)
修士論文の完成

【第27回】　口述試験の準備(1)　知識関係
研究課題の基本的概念、先行研究の調査・分析、研究の重要性・位置づけ、論文のプライオリティー、版権の認識等

【第28回】　口述試験の準備(2)　技能関係
研究の実施・評価に必要な情報の収集、収集データの総合的考察、先行研究の批判および分析、研究結果の論理的まとめと結論、研究結果の根拠と考察、研究結果の簡潔な説明等

【第29回】　口述試験の準備(3)　修了認定の基準関係
研究課題の整合性、研究課題を展開させ遂行させる能力、学術論文や先行資料の理解度、研究課題と当該分野に関する基礎知識、研究論文の執筆能力

【第30回】　修士論文の提出